

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和6年度分)

施設名	群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザ	所管課	健康福祉部福祉局障害政策課
指定管理者名	社会福祉法人群馬県社会福祉事業団及び 一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟	指定期間	5 年
利用料金制	☐ 導入 ☐ 一部導入 ☒ なし		R4.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市新前橋町13-12
指定管理業務内容	・聴覚障害者用の録画物その他必要な資料を製作し、又は収集し、聴覚障害者の利用に供する業務 ・手話通訳者、要約筆記者の派遣及び養成に関する業務 ・聴覚障害者用の情報機器の貸出しに関する業務 ・聴覚障害者の相談に関する業務

2 職員の状況(令和6年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	6 人	
短時間雇用の職員:	2 人	合計: 8 人

3 収支の状況(令和6年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	44,829,000	人件費	36,301,217
その他指定管理関連収入	1,933,897	委託料	432,375
その他(受入研修収入)	8,000	その他(事務費等)	11,966,701
その他(雑収入)	95,000		
収入合計	46,865,897	支出合計	48,700,293

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)	(参考)令和4年度(実績)
①年間利用者数(人)	3,244	3,155	3,299
②使用料収入(円) (県納付額)	0	0	0
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
手話通訳者養成研修	5月～12月 (合計84回)	31名(各コース 修了者数合計)	厚生労働省カリキュラムに基づく手話通訳者を養成するための研修 (基本コース、応用コース、実践コースの3課程)	・表現方法が一つではないことを改めて学んだ ・質問したときは具体的な回答をいただきありがたかった
登録手話通訳者研修	4月～6月 (合計6回)	82名(参加者延べ人数)	登録手話通訳者を対象とした研修	・共生社会と言われているなか学ぶ機会のないテーマで参考になった
手話通訳者認定試験対策研修	9月～11月 (5回)	15名	試験合格者を増やすことを目的とした受験予定者に対する研修	・ビデオ撮影を行っていたき、コメントをいただいたので良かった

要約筆記者養成研修	5月～10月 10月～3月 (前期・後期 各24回)	24名(各コース 修了者数合計)	厚生労働省カリキュラムに 基づく要約筆記者を養成 するための研修 (前期課程及び後期課程)	・専門職であること、重要な支援を担っていることがわかった ・もっと多くの人に要約筆記者や聞こえに不自由な人がいることを知って欲しいと感じた
登録要約筆記者研修	4月～1月 (10回)	91名(参加延べ 人数)	登録要約筆記者を対象とした研修	・要約筆記の目的や筆記者としての心構え、技術向上を常に意識し持続することが大切だと再認識した
要約筆記者認定試験対策研修	11月～2月 (10回)	33名	試験合格者を増やすことを目的とした受験予定者に対する研修	・弱点の確認、見直しと克服するための方策をみいだす

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

令和6年7月11日～令和6年11月30日

(実施方法・回収率等)

- ・聴覚障害者関係団体の会員、来館者(健聴者除く)、県立聾学校(児童生徒)、県立ふれあいスポーツプラザ及び県立ゆうあいピック記念温水プールを利用の聴覚障害者を対象に実施
- ・回答数79名(利用したことある32名(40.5%)、利用したことない47名(59.5%))

(項目別回答集計)

- ・10代以下の回答が44名(56.4%)と多数であった(聾学校からの回答が多数)
- ・DVDの貸出について…必要(45%)、不要(55%)
借りたことある…見たいDVDを借りる事が出来た(88%)、貸出期間ちょうど良い(56%)
借りたことない…家のテレビの字幕・インターネットやスマホで情報を得ている(46%)
- ・情報機器について…団体での利用が多いため個人で借りたことのある人は少ない
- ・生活相談について…聾学校からの回答が多く相談を受けたことのある人は少ない
- ・その他のサービス…HP、職員対応、室内、全体サービスについての全てにおいて普通以上
- ・利用したことのない人のうちコミプラを知っている人(64%)
知った方法…ろう協会、難聴者協会、聾学校、HP
知っているが利用しない理由…「自宅から遠い」 今後機会があれば利用したい(64%)

(利用者からの意見等)

- ・利用したことある人の回答から
「心地よい対応なのでほっとする」「以前よりも相談しやすい」「DVDがしっかり並べてある」「ドラマやアニメのDVDをもっと増やして欲しい」
「要約筆記の職員がいることにより、難聴関係に寄り添った取組対応が向上充実してきたと思う」
- ・利用したことない人の回答から
「利用方法、情報などがあればありがたい」「字幕入りDVDが購入できたら嬉しい」

(調査結果分析)

- ・本年度も前年度同様の内容でアンケートを実施した。今年度は聾学校やふれあいスポーツプラザなどコミプラを知らない、または、利用したことのない人も対象としたため、利用したことのない人の回答が過半数となった。利用したことはないがコミプラを知っている人はそのうち64%だった。利用しない理由は「自宅から遠い」が主で、聾学校の児童生徒は保護者と一緒でないと利用は難しいと考えられるが、このアンケートをとおしてコミプラを再認識してもらえたと思う
- ・DVD貸出を必要としている人は「借りたいDVDが借りられた」「期間もちょうど良い」と回答をいただっており、DVDの貸出を楽しみにしていることがわかる。不要の人は、DVD以外で娯楽や情報を得ている。そもそもDVD機器を持っていない人もいる
- ・利用したことのある人の意見では、「心地よい対応、以前よりも相談しやすい、難聴者に寄り添った取組対応が向上」など良い意見をいただいた。今後、より心地よく利用していただけるよう対応していく
- ・今回10代の回答が過半数であった。今後はどの年代からも多く回答をいただく工夫が必要

(調査結果への対応状況)

- ・「ドラマやアニメのDVDを増やして欲しい」については、県担当課をとおしてDVD購入を申請、聴力障害者情文センターに制作希望を伝えている
- ・「字幕入りDVDが購入したい」については、聾学校へ購入方法を伝えた
- ・「利用方法、情報」についてはHPにて提供しているが、HPを利用出来ない方のための広報活動も工夫していく

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

- ・苦情等はありません

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価 (A: 優良、B: 良好、C: 要努力、D: 要改善)

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	概ね事業計画書、仕様書どおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて努力をしている。	<評価できる事項> ・利用者ニーズに的確に対応いただいている。 ・利用者や支援者のため、業務改善策を随時立案・提案していただいている。 <改善すべき課題> ・個人情報保護については、今後も適切な対応をお願いしたい。

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	B
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	A
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	C

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	県内唯一の聴覚障害者情報提供施設として聴覚障害者関連事業の中核的な役割と自覚し、関係団体及び市町村と連携し各事業に取り組んだ
評価委員会の年度評価	A	おおむね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力をしている。

注) 「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。